

ちくしのクリップ

7/1

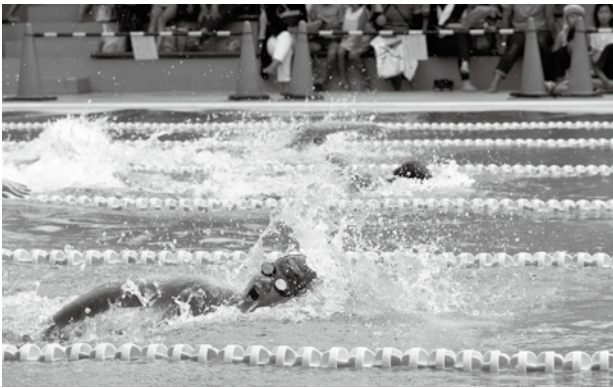
新記録を目指して力泳

第33回筑紫野市民水泳大会

33回目となる筑紫野市民水泳大会が二日市中学校プールで開催され、小学1年生から最高齢83歳の延べ約200人のスイマーが出場しました。

出場者は板キック、平泳ぎ、バタフライ、背泳ぎ、自由形の種目に分かれ、日頃の練習の成果を発揮しようと力泳を見せていました。

大会の後半にはリレーが行われ、一般は7チーム、小学校対抗には4チームが出場しました。



力泳を見せる自由形に出場した選手

6/30

心技体を育てて半世紀

筑紫野市体育協会創立50周年記念式典

生涯スポーツの振興、青少年の健全育成などに努め、「宝満つばきマラソン大会」、「天拝山ロードレース」など、市を代表するスポーツイベントの企画運営にも携わる筑紫野市体育協会が昭和43年の創立から50周年を迎えたことを記念して市内会場で式典が開催されました。

会長を務める藤木 繫尅さんは「これからもスポーツを通じた地域づくりを行っていききたい」と話していました。



スポーツ振興に貢献した人への表彰などが行われました

7/4.5

先生は落語家さん! 「落語」の世界に触れる

筑紫野市出身の落語家が市内の小中学校を訪問し「落語」の授業を行う、筑紫野市文化会館主催「学校DE落語会」が開催され、筑紫野市ふるさと親善大使の立川 生志師匠が筑紫小学校の6年生、柳家 さん光さんが自身の母校でもある筑紫野中学校の2年生を前に落語を披露しました。

落語を披露する前には、落語の楽しみ方について丁寧に解説がありました。落語への理解を深めた児童・生徒

第十二回ちくしの寄席 学校DE落語会

は何度も笑いながら集中して話に聞き入り、落語の世界を堪能しました。

生徒を代表して高座に上がり、マンツーマンで指導を受けた筑紫野中学校の藤本 愛斗さんは、「落語は難しいイメージがあったけど、今のお笑いにも通じるころがあって面白かったです。記念にもらった手ぬぐいは家宝にします」と話していました。



「寿限無」を披露した立川 生志師匠



「そばの上手なすすり方」を指導する柳家 さん光さん